



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社

コード番号 7775 URL <https://daiken-iki.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山田 雅之

問合せ先責任者（役職名）管理本部管理本部長（氏名）中沢 雅宏 TEL 06-6231-9917

半期報告書提出予定日 2026年11月2日 配当支払開始予定日 2026年12月1日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期中間期	5,097	0.8	478	△29.3	474	△29.7	368	△28.0
2026年3月期中間期	5,057	2.9	676	△19.2	674	△19.3	511	△15.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	12.84	—
2026年3月期中間期	17.82	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期中間期	10,915	7,829	71.5
2026年3月期	11,366	7,777	68.2

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 7,799百万円 2026年3月期 7,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2027年3月期	—	9.00			
2027年3月期(予想)			—	11.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	10,500	2.0	840	△34.3	825	△35.3	590	△36.1	20.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期中間期	31,840,000株	2026年3月期	31,840,000株
2027年3月期中間期	3,111,563株	2026年3月期	3,111,563株
2027年3月期中間期	28,728,437株	2026年3月期中間期	28,728,437株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の実績.....	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しがみられ、企業収益や設備投資も底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇やエネルギー価格の高止まり、地政学的リスク、金融資本市場の変動等の影響が懸念されており、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、物資の高騰や医療従事者の慢性的な人手不足等、各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増してきており、医療現場においてより効率的で効果的な医療サービスを提供できるような製品供給体制が望まれております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、医療現場と密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当中間会計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は、5,097百万円（前年同期比0.8%増）となりました。これは主として、フィットフィックス（吸引器関連）及びクーデックエイミーPCA（注入器関連）の販売が好調に推移したこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は、478百万円（前年同期比29.3%減）となりました。これは主として、売上高が増加したものの、材料コストの上昇による売上総利益の減少及び、人件費の増加により販売費及び一般管理費が増加したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は、474百万円（前年同期比29.7%減）となりました。これは主として、営業利益が減少したこと等によるものです。

④ 中間純利益

中間純利益は、368百万円（前年同期比28.0%減）となりました。これは主として、経常利益が減少したこと等によるものです。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前事業年度末に比べて502百万円減少し、6,525百万円となりました。これは主として、製品が132百万円、原材料が65百万円、電子記録債権が60百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が757百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて50百万円増加し、4,389百万円となりました。これは主として、有形固定資産が39百万円増加したこと等によるものです。

② 負債

流動負債は、前事業年度末に比べて336百万円減少し、2,385百万円となりました。これは主として、未払消費税等（流動負債「その他」）が28百万円、電子記録債務が6百万円それぞれ増加したものの、未払金（流動負債「その他」）が207百万円、1年内返済予定の長期借入金が69百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ167百万円減少し、699百万円となりました。これは主として、長期借入金が164百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

純資産は、前事業年度末に比べて51百万円増加し、7,829百万円となりました。これは主として、利益剰余金が剰余金の配当により316百万円減少したものの、中間純利益を368百万円計上したことによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて291百万円減少し、2,020百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、58百万円(前年同期比155百万円減)となりました。これは主として、税引前中間純利益を468百万円、減価償却費を143百万円それぞれ計上したものの、棚卸資産の増加188百万円、及び未払金の減少153百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、261百万円(前年同期比114百万円増)となりました。これは主として、有形固定資産の取得により238百万円支出したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は554百万円(前年同期比195百万円減)となりました。これは主として、配当金を316百万円支払い、長期借入金を234百万円返済したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、現時点では、2026年3月期決算短信(2026年5月15日公表)に記載いたしました業績予想と変更はありません。

今後の業績動向により、変更が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当中間会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,778,379	2,020,529
受取手形及び売掛金	1,231,106	1,199,003
電子記録債権	1,339,433	1,399,441
製品	1,062,926	1,195,338
仕掛品	88,884	79,972
原材料	440,136	505,304
その他	87,501	126,029
貸倒引当金	△98	△98
流動資産合計	7,028,268	6,525,520
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,662,520	1,649,732
土地	1,703,670	1,703,670
その他(純額)	677,648	729,698
有形固定資産合計	4,043,839	4,083,102
無形固定資産	22,623	33,856
投資その他の資産		
繰延税金資産	205,725	205,725
その他	91,014	91,494
貸倒引当金	△24,689	△24,689
投資その他の資産合計	272,050	272,530
固定資産合計	4,338,513	4,389,489
資産合計	11,366,782	10,915,009

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当中間会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	564,641	522,469
電子記録債務	131,901	138,445
短期借入金	920,000	920,000
1年内返済予定の長期借入金	470,020	400,024
未払法人税等	169,547	119,057
未払費用	76,604	77,692
その他	389,259	208,047
流動負債合計	2,721,974	2,385,736
固定負債		
長期借入金	840,037	675,043
その他	27,301	24,810
固定負債合計	867,338	699,853
負債合計	3,589,312	3,085,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	400,875	400,875
利益剰余金	8,676,333	8,729,092
自己株式	△1,826,584	△1,826,584
株主資本合計	7,746,499	7,799,257
新株予約権	30,971	30,161
純資産合計	7,777,470	7,829,419
負債純資産合計	11,366,782	10,915,009

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	5,057,708	5,097,439
売上原価	3,089,049	3,316,770
売上総利益	1,968,659	1,780,669
販売費及び一般管理費	1,292,629	1,302,492
営業利益	676,029	478,177
営業外収益		
受取利息	55	2,317
為替差益	1,861	—
未払配当金除斥益	333	648
受取手数料	555	555
受取保険金	762	266
受取補償金	348	2,224
助成金収入	—	2,815
スクラップ売却益	—	315
雑収入	158	147
営業外収益合計	4,076	9,291
営業外費用		
支払利息	5,473	11,811
その他	—	1,339
営業外費用合計	5,473	13,151
経常利益	674,632	474,317
特別利益		
新株予約権戻入益	—	809
特別利益合計	—	809
特別損失		
固定資産除却損	0	6,441
特別損失合計	0	6,441
税引前中間純利益	674,632	468,685
法人税等	162,742	99,914
中間純利益	511,890	368,771

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	674,632	468,685
減価償却費	124,833	143,152
受取利息及び受取配当金	△55	△2,317
助成金収入	—	△2,815
新株予約権戻入益	—	△809
支払利息	5,473	11,811
売上債権の増減額 (△は増加)	△88,029	△27,904
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△126,280	△188,668
仕入債務の増減額 (△は減少)	△77,756	△29,333
固定資産除却損	0	6,441
未収入金の増減額 (△は増加)	△17,075	△20,632
未払金の増減額 (△は減少)	△78,484	△153,046
未払費用の増減額 (△は減少)	2,163	1,087
未払又は未収消費税等の増減額	△28,633	29,663
その他	5,773	△19,664
小計	396,559	215,649
利息及び配当金の受取額	—	2,348
利息の支払額	△5,306	△11,782
法人税等の支払額	△177,889	△150,740
助成金の受取額	—	2,815
営業活動によるキャッシュ・フロー	213,363	58,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△143,348	△238,712
無形固定資産の取得による支出	△1,511	△22,467
差入保証金の差入による支出	△2,861	△952
差入保証金の回収による収入	8	232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,712	△261,900
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△244,986	△234,990
配当金の支払額	△401,885	△316,015
リース債務の返済による支出	△2,954	△3,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△749,825	△554,240
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△684,174	△757,850
現金及び現金同等物の期首残高	2,995,993	2,778,379
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,311,818	2,020,529

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の実績につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

製品群	生産高(千円)	前年同期比(%)
吸引器関連	2,178,415	+5.5
注入器関連	839,526	+10.4
電動ポンプ関連	45,189	△31.4
手洗い設備関連	128,941	+1.5
その他	139,998	+0.9
合計	3,332,071	+5.6

(注) 金額は製造原価によっております。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

製品群	販売高(千円)	前年同期比(%)
吸引器関連	3,262,525	+0.6
注入器関連	1,152,065	+1.0
電動ポンプ関連	94,525	+4.1
手洗い設備関連	269,232	△6.2
その他	319,090	+7.9
合計	5,097,439	+0.8